

# 第12回 全国生産活動・就労支援部会職員研修会 開催要綱

同時開催：展示会「思いを伝えるパッケージのチカラ」

## テーマ

### 就労支援の目指すべき方向性について考える ～社会とのつながり・多様な働き方の構築に向けて～

## 趣旨

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定では、「障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり」「社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細かな対応」「持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直し」の基本的な考え方に基づき、様々な見直しが行われました。

こうした中、就労系福祉サービスにおいては、障害のある人の就労ニーズや能力・適性ととも、就労に必要な支援や配慮を整理し、個々の状況に応じた適切な就労につなげることを目的とした「就労選択支援事業」が創設がされました。働く環境の多様化など、障害のある人の雇用環境や就労支援施策が変化する中、支援者には、より障害のある人の視点に立ち、多様な支援ニーズに応えることが求められます。

本研修会では、障害のある人が社会の一員として充実した地域生活を送るために、また、より働きやすい社会を実現していくために、今後の就労支援に求められることを障害者福祉・障害者雇用の双方の視点から考える機会としたいと思います。

また、本研修会では研修会会場において全国の事業所で生産される商品の中から「パッケージ」に特化した「展示会」を開催します。「より良い商品を作りたい」との思いのもと、原料や製法にこだわった商品の思いを伝えるパッケージは、商品の価値を高めるとともに、障害のある人の働く力を伝え、売り上げ向上にも貢献しています。こだわりのパッケージから商品力の向上のヒントを得ていただければと思います。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

## 主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会

## 開催日

令和6年12月2日（月）・12月3日（火）

## 会場

「研修会」 & 「展示会」：東京グリーンパレス（東京都千代田区二番町2）

「交流会」：LIFULL Table（東京都千代田区麴町1-4-4）

（※研修会会場と懇親会会場は徒歩13分程度です）

## 参加対象

障害福祉サービス事業所において生産活動や就労支援に携わる関係職員等

## 定員

- ・研修会：150名（先着順）※研修会参加者は展示会入場可
- ・交流会：100名（先着順）※メニューの一部に、事業所商品を使った「スペシャルコラボメニュー」が登場します。

## 参加費

- ・会 員：16,500円（本体15,000円+税10%1,500円）
- ・一 般：22,000円（本体20,000円+税10%2,000円）
- ・交流会費：7,700円（本体7,000円+税10%700円）※任意参加

## 申込締切

令和6年11月15日（金）

※都合により講師に変更が生じる場合があります。

※本研修会では宿泊の斡旋は行いませんのでご了承くださいようお願い申し上げます。

## 第1日目（12月2日）

受付 12:00～

### 1 主催者挨拶 12:50～13:00

北川 聡子（公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 副会長）

志賀 正幸（公益財団法人日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会 部会長）

### 2 行政説明 13:00～13:50

テーマ「障害福祉施策の動向について——就労系障害福祉サービスを中心に——」（仮題）

横田 雄介 氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐）

### 3 講演 13:50～14:50

テーマ「知的障害のある方からみた地域での生活・社会とのつながりとは」（仮題）

笠原 千絵 氏（上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 教授）

講師紹介：笠原千絵（研究分野）社会福祉学

大学卒業後、地方公務員として知的障害者入所更生施設に勤務後、大学院で学び直しをする。最近、知的障害のある人たちと共に行うインクルーシブリサーチに取り組む。最も声が届けられにくかった知的障害のある人たちが、社会をどのように見ているのか、当事者の声で社会に投げかけることには、現状を変えていく可能性があると考え、障害の社会モデルを切り口に、様々な格差や生きづらさを生み出している現状を問い、権利、参加、インクルージョンに向けて社会を切り開いていくような研究を目指している。

<休憩> 14:50～15:10

### 4 シンポジウム 15:10～16:30

テーマ：「就労支援の目指すべき方向性——就労選択支援に期待すること——」（仮題）

就労系福祉サービスの「質」の確保と向上が求められる中、知的障害のある人はどのような地域生活や社会とのつながりを求め、どのような就労支援施策・就労支援を必要としているのか。個々のニーズと特性をより深く理解するため、就労選択支援に期待することを中心とした「就労支援の目指すべき方向性」について、障害のある人が望む就労支援のあり方と本質に迫る議論を展開します。

#### ・シンポジスト

鈴木 裕平 氏（新潟県・社会福祉法人中越福祉会／生産活動・就労支援部会 北陸地区代表委員）

鈴木 大樹 氏（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官）

#### ・助言者

笠原 千絵 氏（上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 教授）

#### ・進行

志賀 正幸 氏（長崎県・社会福祉法人つかさ会／生産活動・就労支援部会 部会長）

## 第2日目（12月3日）



開 場 9:00

### 1 行政説明 9:20~10:10

テーマ「障害者雇用施策の動向について」（仮題）

中西 里菜 氏（厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課 主任）

### 2 パネルディスカッション 10:10~12:00

テーマ：「あらためて障害者雇用について考えてみよう  
——企業との連携・施設外就労について——」（仮題）

障害のある人が社会の一員としての役割を担い、充実した地域生活を送るため、障害福祉施策と障害者雇用施策では今後どのような充実・強化を図るべきか。施設外就労や企業との雇用連携等の実践に基づき、障害者総合支援法、障害者雇用促進法等の諸課題について整理・共有するとともに、あらためて「障害者雇用」について考えたいと思います。

#### ・パネリスト

鈴木 正和 氏（北海道・社会福祉法人北海道光生会 統括マネージャー）

奥西 利江 氏（三重県・社会福祉法人維雅幸育会 統括管理者）

#### ・助言者

原田 自由 氏（厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課 課長補佐）

#### ・パネリスト／コーディネーター

白石圭太郎 氏（宮城県・社会福祉法人チャレンジドらいふ、理事長）

### 3 閉会式

次期開催地区挨拶（北海道地区）

## 展示会「思いを伝えるパッケージのチカラ」

会 期：12月2日（月）12:00~16:30、12月3日（火）9:00~12:00

会 場：東京グリーンパレス「さくら」※研修会会場隣

本展示会では、全国の事業所が生産する生産品の中から、コンセプトやデザインにこだわった「パッケージ」をテーマに展示します。実際の商品パッケージとともに、商品やパッケージに込めた思い、取り組みのようすをパネルで展示します。

パッケージや商品の改良、ブランディングによって得られた成果など、売上げや商品価値の向上のための工夫を、研修参加者・事業所と共有を図ることで、全国の事業所の生産活動や取り組みの向上に資することを目的に開催します。

## <会場アクセス> 研修会場：東京グリーンパレス（東京都千代田区二番町2）

最寄駅：（東京メトロ有楽町線）麴町駅 徒歩1分

（東京メトロ半蔵門線）半蔵門駅 徒歩5分

（JR・都営地下鉄新宿線・東京メトロ南北線）市ヶ谷駅 徒歩7分

（JR・東京メトロ南北線）四ツ谷駅 徒歩7分



### ●参加申し込み方法

下記のURLまたは右の二次元バーコードより申し込み専用サイトに接続し、必要事項をご入力の上、**令和6年11月15日(金)まで**にお申し込みください。

<https://www.mwt-mice.com/events/seisan2024>



※取消料(交流会):11月15日(金)迄は無料・11月16日(土)以降は100%必要になります。

### ●当日ご参加までの流れおよびお問い合わせについて

- (1)「新規お申込みはこちら」をクリック後、必要事項の入力が完了された方には、登録されたメールアドレスに「申込完了」のメールが届きます。申込完了メールに記載の口座に期日迄に参加費等をお振込みをお願い申し上げます。  
※メールの受信拒否設定等をされている場合には、事前に、@mwt.co.jpからの受信ができるように設定を変更してください。  
※翌営業日を過ぎて「申込完了」のメールが届かない場合は、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターまでご連絡ください。
- (2)11月15日(金)までに登録内容の確認・変更・取消をされる場合、マイページからお手続きください。  
ログインする際には、初回申込み時に登録されたE-mail アドレスとパスワードが必要になります。
- (3)締切日以降の変更・取消は、上記サイトのお問い合わせフォームからの送信またはFAXにて、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターまでご連絡ください。お電話での変更・取消は致しかねます。
- (4)参加費入金後の参加取消は原則として返金対応致しかねます。

### 【お問い合わせ先】

#### 【本研修全般に関すること】

公益財団法人日本知的障害者福祉協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6F(担当/山本・水内)

TEL: 03-3438-0466 FAX:03-3431-1803

#### 【お申込みに関すること】

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター(担当/下枝・柴田・岩倉)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル ロビー階

TEL:03-3595-1121 FAX:03-3595-1119 受付時間10:00~17:00(※土・日・祝日 休業日)